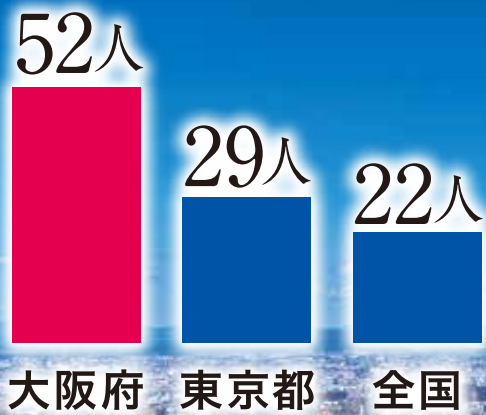


だれも命を奪わない。

新型コロナ死者数
(人口10万人あたり・2022年3月28日まで)



急性期など

病床削減 いま 中止を!

「コロナ陽性、39℃の熱があっても入院できない」——第6波でも多くの患者が放置されました。検査も療養も“自己責任”では命は守れません。「限りある資源を活用」といいながら病床を削減することは許せません。

2020年度からの2年間で

大阪府の計画は

2022年度も

661床削減・転換決定 ▶▶▶▶ 予定 954床

コロナ無料検査所を 全中学校区に

府は全中学校区に無料検査場をつくるとしましたが、今もない中学校区が4割以上。

ピーク時、無料検査をした無症状者7人に1人が陽性に。いつでも検査を受けられるようにしてこそ無症状の感染者をいち早く発見できます。

すべての高齢者等施設、保育所、 学校で 定期検査を

吉村知事は、高齢者施設などの職員の定期検査を昨年12月にいったん中止に。再開したのは第6波が感染拡大している1月。定期検査を続け、保育所、学校でも検査をすることが、コロナを防ぐカギです。

日本共産党 府議会議員

うち海公仁

子どもと学校への支援を



スクールカウンセラー

スクールサポートスタッフ

養護教諭、SC、SSSを増やして

コロナ禍の長期化で、子どもはがまん、教職員の負担は重くなる一方。

カウンセラーやサポートスタッフは、各学校に専任で配置すべきです。

全小中高校に、養護教諭の複数配置、学習支援員の配置が必要です。



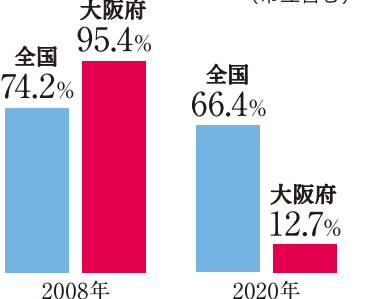
図書室が閉まったまま?!



府立高校の図書館には専任の司書担当がいました。ところが13年前、橋下知事(当時)によって全廃に。

その後、法改正で司書を配置する“努力義務”ができたのに、今も配置せず。生徒の中には「図書館知らない!」という声があるほど。すぐに学校司書を全高校に置くべきです。

公立高校の学校司書配置割合 (市立含む)



「核兵器NO」で 包囲しよう

核兵器の使用も辞さないと脅すプーチン大統領。「核兵器は禁止」「侵略やめよ」の声を世界中があげ包囲してこそ、戦争を止められます。122か国が賛成する核兵器禁止条約に、日本も参加する時です。

ロシアは
侵略
をやめよ!
ただちに
無差別攻撃をやめ
撤退すべきです。

「核共有」は プーチン大統領と同じ

「核共有」とは、アメリカの核兵器を日本が共同で管理、使用すること。「軍力には軍力で対抗」という考えです。行きつく先は、果てしない核軍拡競争、日本も巻き込んだ核戦争です。

